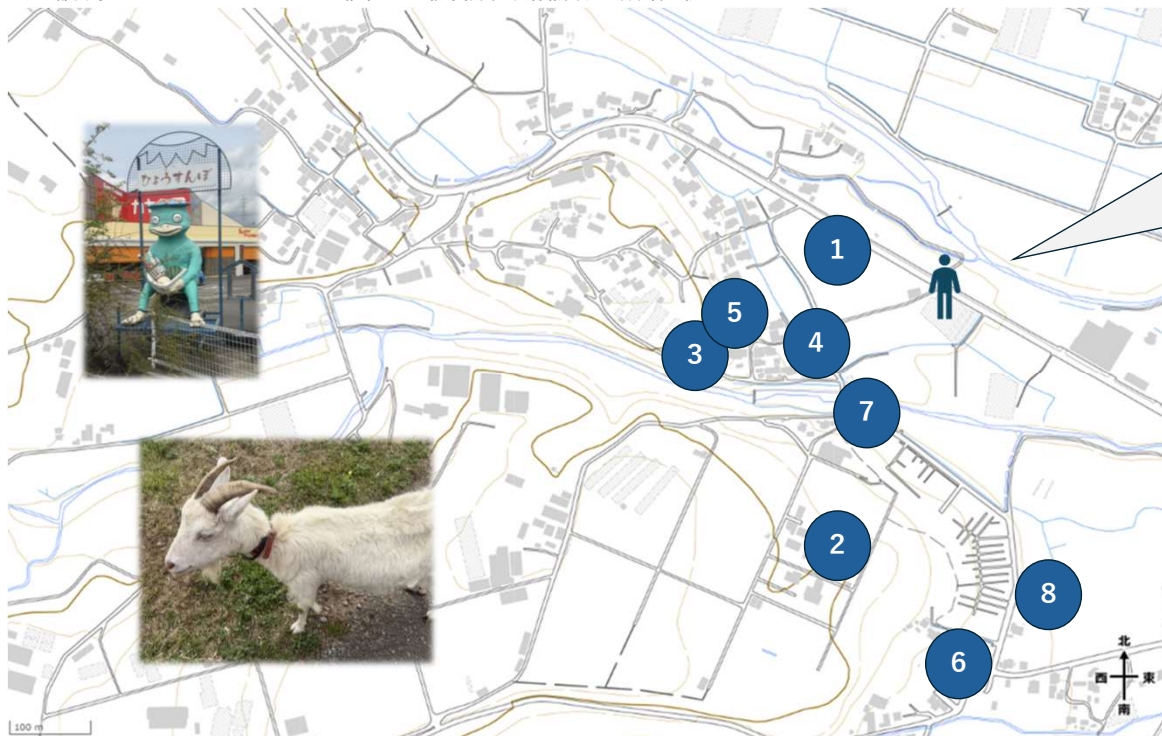




下瓜生の方に実際にインタビューをしたところ、都農町の魅力として、人の良さや農業の都と書くようにさまざまな種類の農作物を育てているところなどがあげられるそうだ。また、町の機能が備わっているため、田舎過ぎないところや、ほかの町と比べて開発が進んでいない点などもあげていた。東京から短期的に訪れる方もいらっしゃるようで知らない人のことも受け入れるといったところにも人の良さが出ているのだと感じました。（久保）

行く前は正直「何もないんじゃないか」、「誰もインタビューに答えてくれなかったらどうしよう」という不安が多いうえに、宮崎県に住んでいるものの都農町に一度も足を運んだことがなかったため、どうなるんだろうと心配だった。が、それは杞憂に終わった。惜越ながら地元住民の方たちにインタビューを求めた際にも、どの住民の方も優しく受け入れてくれ、都農町全体の温かみを知れた。また、インタビュー外でも多くの住民の方があちら側から積極的に話しかけてくださることもあった。多くの面で学びの多い実習だった。（濱砂）

今まで都農町にはちゃんと訪れたことがなかったのですが、何が有名なのかわからなかったが、事前の調査や今回のフィールドワークを通してトウモロコシやぶどう、ワインなどの様々な特産品があることが分かった。現地住民の方々のお人柄もとてもよく、我々が突然お願いしたインタビューにも快く答えていただき、都農町で盛んな産業について懇切丁寧に教えてくださった。訪れてもお話を伺うことができなかった施設が数ヶ所ほどあったのは残念だったが、それを差し引いてもこのフィールドワークで多くの新しい学びを得ることができたように思う。（網中）
都農町の人とはとても優しく充実したフィールドワークになった。（椎葉）

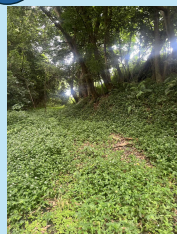


1 トウモロコシ畑



私たちが通った道には多くのトウモロコシ畑があった。このあたりに住む方によるとこのトウモロコシは牛の餌になるようだ。（久保）

3 牛舎にむかうまでにあった獣道



牛舎に向う道の途中で、電灯もなければ舗装もされていない獣道を見つけた。私たちが訪れたのは昼の間だからこそ身に危険はなかったが、夜になると十分危険そうだ。また、この道の横の道路は頻繁に車が往来していた。反射鏡こそあれどこの点においても危険なことには変わりはない。（濱砂）

5 都農牧場



寺の近くの坂を上ったところにあった牧場。牛舎で牛の飼育を行っているようだ。関係者と思いき人に話を伺おうとしたが、あちらの都合がよろしくなかったようで、それは叶わなかった。（網中）

7 都農ライスセンター



ここは主に米の乾燥・調整・貯蔵をする施設である。人は誰もおらず話を聞くことは出来なかった。（椎葉）

2 蟠龍山信楽寺



明治12年に本派本願寺川北説教所として都農町に建設された。このお寺は浄土真宗本願寺派である。入口が分かりにくかったため、初めて訪問する場合には少し迷ってしまう可能性がある。（久保）

4 丘の下墓地、横の田んぼ



お墓が多く、街灯もないため夜は暗そう。周辺の道や丘も整備されておらず危険そうだった。が、お墓参りに来ている住民同士の交流は盛んそうであった。田んぼのほうは一面の緑が広がっており、パッと見た景観として非常に見ごたえがあった。その反面耕作放棄地も目立っていた。（濱砂）

6 野菜の無人販売所



道にあった野菜の無人販売所。私たちが見たときは並んでいなかったが、野菜だけでなくメダカの販売もされているようだ。売り切れていると思われる品物もあり、地域住民にとって大切なコミュニティの一つとなっていると考えられる。（網中）

8 真行寺保育園



お寺ならではの仏教の教えを通じて、挨拶や礼儀作法をしっかり身に付けられる保育園である。また異年齢交流や英会話教室など特色ある活動も取り入れられている。子供たちが元気よく外で遊んでいる姿を見てとても心が癒された。